

東海道五十三次を往く

第38回

亀山城の城下で栄え、 今も往時の町並みが残る 亀山宿

亀山城の城下で栄え、今も往時の町並みが残る

亀山宿の東の入り口である江戸口門跡から続く東町商店街を歩くと、通りの左側に樋口本陣跡の立札がある。立札以外は何も痕跡は見当たらないが、その先の亀山城大手門跡を左に曲ると城下町らしく、枳形と呼ばれる曲がりくねった道が続く。道沿いには連子格子の商家などが立ち、風情ある町並みが今も残る。江戸時代の医家であり自然科学者でもあった飯沼慾斎生家跡を過ぎて、しばらく行くと「亀山城西之丸外堀跡」にたどり着く。復元された外堀を眺めながら往時の亀山城に思いを馳せつつ、さらに進むと梅厳寺があり、ここに亀山宿の西の入り口である京口門跡がある。広重の傑作「雪晴」の絵は京口門跡あたりから見た風景だと言われているが、今ではまったくわからない。亀山宿を後に、次の関宿に向かってしばらく行くと、右手に野村一里塚が見えてくる。



京口門跡

門や櫓を構えた壮麗な姿は「亀山に過ぎたるものが二つあり伊勢屋蘇鉄に京口御門」と謳われ、広重の絵にも美しい情景が描かれたが、今では面影を探すことは難しい。

街道の土産

亀乃尾

江戸後期より受け継がれる古今和歌集の賀歌を題材にした餅菓子。上質なこし餡をやわらかい求肥で包んだ上品な銘菓。

瑞宝軒

三重県亀山市御幸町 231-54
☎ 0595-82-3331



亀山城西之丸外堀

復元された西之丸外堀は、城の外周を取り囲む亀山城外堀の一部で、東海道と外堀が並行して接する場所にあった。



亀山城多門櫓 亀山城は、天正18(1590)年に岡本宗憲によって築城され、多門櫓は、天守台と言われる本丸高石垣上にあり、寛永9(1632)年頃に築造されたもの。「平成の大修理」で江戸時代後半の姿に復原されて、県有形文化財(建造物)に指定されている。

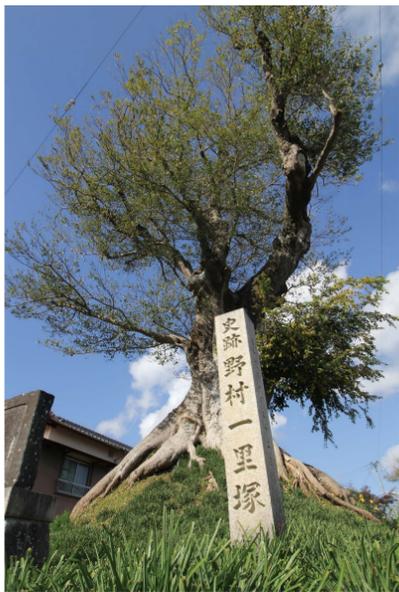


樋口本陣跡付近の街並み



亀山市歴史博物館

亀山公園内にある博物館で、亀山市の歴史文化に関する資料を収集展示している。亀山宿の町並みを再現したジオラマも展示。

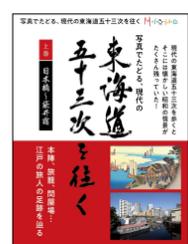


野村一里塚

樹齢400年と言われる棕(むく)の木がそびえる一里塚。棕の木の一里塚は全国でもここだけだそう。



「写真でたどる、現代の東海道五十三次を往く」
上巻(日本橋～袋井宿)好評発売中!



人気連載「東海道五十三次を往く」が待望の書籍化! 写真をより大きく使い、迫力や臨場感を増して、現代の東海道を紹介している。定価は1,650円(税込)。お求めは全国の書店、ネット通販などから。

お求めはこちらからも!

